様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和5年6月27日

八尾市長　　殿

提出者
住　所　八尾市渋川町２丁目１番３号

氏　名　松本油脂製薬株式会社　取締役社長　木村直樹

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　072-991-1001

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	松本油脂製薬株式会社
事業場の所在地	八尾市渋川町２丁目１番３号
計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	１６　化学工業
②事業の規模	生産量　約51,000t/年
③従業員数	３００人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙

（日本産業規格　Ａ列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	
	（管理体制図）　　別紙の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項											
	【前年度（令和4年度）実績】			【前年度（令和4年度）実績】				【前年度（令和4年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	①汚泥	②廃油	③廃アルカリ	④廃プラスチック類	⑤木くず	⑥金属くず	⑦ガラスくず等	⑧がれき類	⑨管理型混合廃棄物	⑩乾電池
	排　出　量	122.8 t	825.6 t	17 t	2.1 t	38.5 t	0.3 t	0.2 t	5.4 t	2.8 t	0.3 t
①現状	（これまでに実施した取組） 廃油の濃縮、釜洗い回数の低減等による排出量の抑制										
	【目標】			【目標】				【目標】			
	産業廃棄物の種類	①汚泥	②廃油	③廃アルカリ	④廃プラスチック類	⑤木くず	⑥金属くず	⑦ガラスくず等	⑧がれき類	⑨管理型混合廃棄物	⑩乾電池
	排　出　量	122 t	818 t	17 t	2.1 t	38.5 t	0.3 t	0.2 t	5.4 t	2.8 t	0.3 t
②計画	（今後実施する予定の取組） 再生原料や燃料としてとして有価で売却できるものがないか検討を行っていく										

産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 汚泥、廃油、廃溶剤、廃プラスチック、がれき、木くず、金属くず、廃酸、廃アルカリに分類している。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 有価物やリサイクルできるものがあれば増やしていく。

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和4年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>①汚泥</td><td>②廃油</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>①汚泥</td><td>②廃油</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和4年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>①汚泥</td><td>②廃油</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減
量した産業廃棄物の量</td><td>― t</td><td>― t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>①汚泥</td><td>②廃油</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減
量した産業廃棄物の量</td><td>― t</td><td>― t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項											
①現状	【前年度（令和4年度）実績】										
	産業廃棄物の種類	①汚泥	②廃油	③廃アルカリ	④廃プラスチック類	⑤木くず	⑥金属くず	⑦ガラスくず等	⑧がれき類	⑨管理型混合廃棄物	⑩乾電池
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組）										
②計画	【目標】										
	産業廃棄物の種類	①汚泥	②廃油	③廃アルカリ	④廃プラスチック類	⑤木くず	⑥金属くず	⑦ガラスくず等	⑧がれき類	⑨管理型混合廃棄物	⑩乾電池
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組）										

産業廃棄物の処理の委託に関する事項											
①現状	【前年度（令和4年度）実績】										
	産業廃棄物の種類	①汚泥	②廃油	③廃アルカリ	④廃プラスチック類	⑤木くず	⑥金属くず	⑦ガラスくず等	⑧がれき類	⑨管理型混合廃棄物	⑩乾電池
	全処理委託量	122.8 t	825.6 t	17 t	2.1 t	38.5 t	0.3 t	0.2 t	5.4 t	2.8 t	0.3 t
	優良認定処理業者への処理委託量	90 t	388 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0.2 t	5.4 t	2.8 t	0.3 t
	再生利用業者への処理委託量	66 t	438 t	17 t	2 t	39 t	0.3 t	0.2 t	0 t	2.8 t	0.3 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	240 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	148 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	これまでに実施した取組） 優良認定処理業者への委託量を増やす。 認定熱回収業者へ委託する。										

②計画	【目標】			【目標】				【目標】			
	産業廃棄物の種類	①汚泥	②廃油	③廃アルカリ	④廃プラスチック類	⑤木くず	⑥金属くず	⑦ガラスくず等	⑧がれき類	⑨管理型混合廃棄物	⑩乾電池
	全処理委託量	122 t	818 t	17 t	2.1 t	38.5 t	0.3 t	0.2 t	5.4 t	2.8 t	0.3 t
	優良認定処理業者への処理委託量	90 t	388 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0.2 t	5.4 t	2.8 t	0.3 t
	再生利用業者への処理委託量	65 t	429 t	17 t	2 t	39 t	0.3 t	0.2 t	0 t	2.8 t	0.3 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	240 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	148 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） 認定熱回収業者へ委託量を増やす。										
※事務処理欄											

集計用シート　前年度【令和4年度】　実　績

提出者						
住　　所	名　　称	担当部署	担当者名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の住所	産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の名称	報告担当部署の名称	報告担当者の氏名	報告担当部署の電話番号	報告担当部署のFAX番号	報告担当部署の電子メールアドレス
八尾市渋川町２丁目１番3号	松本油脂製薬株式会社	製造部	[redacted]	072-991-1008	072-994-8812	[redacted]

（注１）トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下３桁まで記載は可。

	産業廃業物の種類		計画の実施状況																	
			①排出量	②自ら直接再生利用した量	③自己直接埋立処分又は海洋投入処分した量	④自ら中間処理した量	⑤④のうち熱回収を行った量	⑥自ら中間処理した後の残さ量	⑦自ら中間処理により減量した量	⑧自ら中間処理した後再生利用した量	⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑩直接及び自ら自己処理した後の処理委託量	（⑪＝①-②-③-④＋⑥-⑧-⑨＝⑫＋⑬＋⑭＋⑮＋⑯）委託先による区分						②＋⑧	⑨＋⑪
コード	名　称		(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	⑪再生利用業者への処理委託量 (t)	⑫熱回収認定業者への処理委託量 (t)	⑬熱回収認定業者以外の熱回収業者への処理委託量 (t)	⑭その他の中間処理委託量 (t)	⑮埋立処分委託量 (t)	⑯優良認定処理業者への処理委託量 (t)	自ら再生利用を行った量 (t)	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量 (t)
コード参照	産業廃業物の種類		発生した産業廃業物の種類ごとの量	①の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量	①の量のうち、中間処理をせず自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	①の量のうち、自ら中間処理した産業廃業物の当該中間処理前の量	④の量のうち熱回収を行った量	自ら中間処理を行った後の量	④の量から⑥の量を差し引いた量	⑥の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量	⑥の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量	中間処理及び最終処分を委託した量	⑩の量のうち、処理業者への再生利用委託量（⑬、⑭除く）	⑩の量のうち、認定熱回収施設設置者である処理業者への焼却処理委託量	⑩の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量	⑩の量のうち、委託して破砕等の中間処理した量（⑫～⑭を除く）	⑩の量のうち、直接委託して埋立て最終処分した量	⑩の量のうち、優良認定処理業者への委託処理量	②の量と⑧の量を合計したもの（自動計算）	③の量と③の量を合計したもの（自動計算）
1	200	①汚泥	123	0	0	0	0	0	0	0	0	123	66	0	0	0	57	90	0	0
2	300	②廃油	826	0	0	0	0	0	0	0	0	826	438	240	148	0	0	388	0	0
3	500	③廃アルカリ	17	0	0	0	0	0	0	0	0	17	17	0	0	0	0	0	0	0
4	600	④廃プラスチック類	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0
5	800	⑤木くず	39	0	0	0	0	0	0	0	0	39	39	0	0	0	0	0	0	0
6	1200	⑥金属くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	1300	⑦ガラスくず等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	1500	⑧がれき類	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	5	5	0	0
9	2200	⑨管理型混合廃棄物	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	3	0	0
10	3520	⑩乾電池	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11									0			0							0	0
12									0			0							0	0
13									0			0							0	0
14									0			0							0	0
15									0			0							0	0
16									0			0							0	0
17									0			0							0	0
18									0			0							0	0
19									0			0							0	0
20									0			0							0	0
	合計		1,015	0	0	0	0	0	0	0	0	1,015	566	240	148	0	63	487	0	0

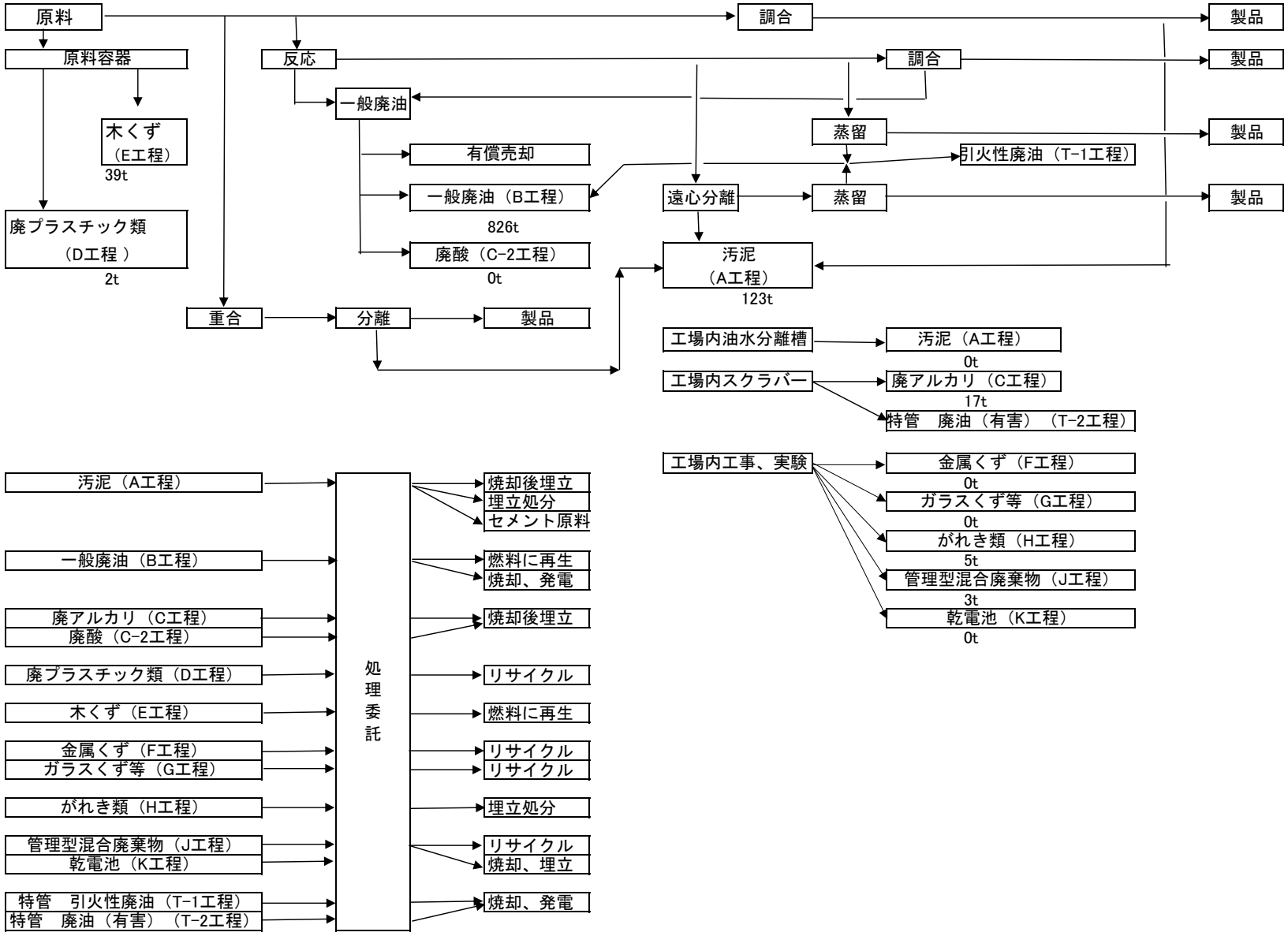
集計用シート　今年度【令和5年度】　目　標

提出者						
住　　所	名　　称	担当部署	担当者名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の住所	産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の名称	報告担当部署の名称	報告担当者の氏名	報告担当部署の電話番号	報告担当部署のFAX番号	報告担当部署の電子メールアドレス
八尾市渋川町2丁目1番3号	松本油脂製薬株式会社	製造部	[redacted]	072-991-1008	072-994-8812	[redacted]

（注１）トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下３桁まで記載は可。

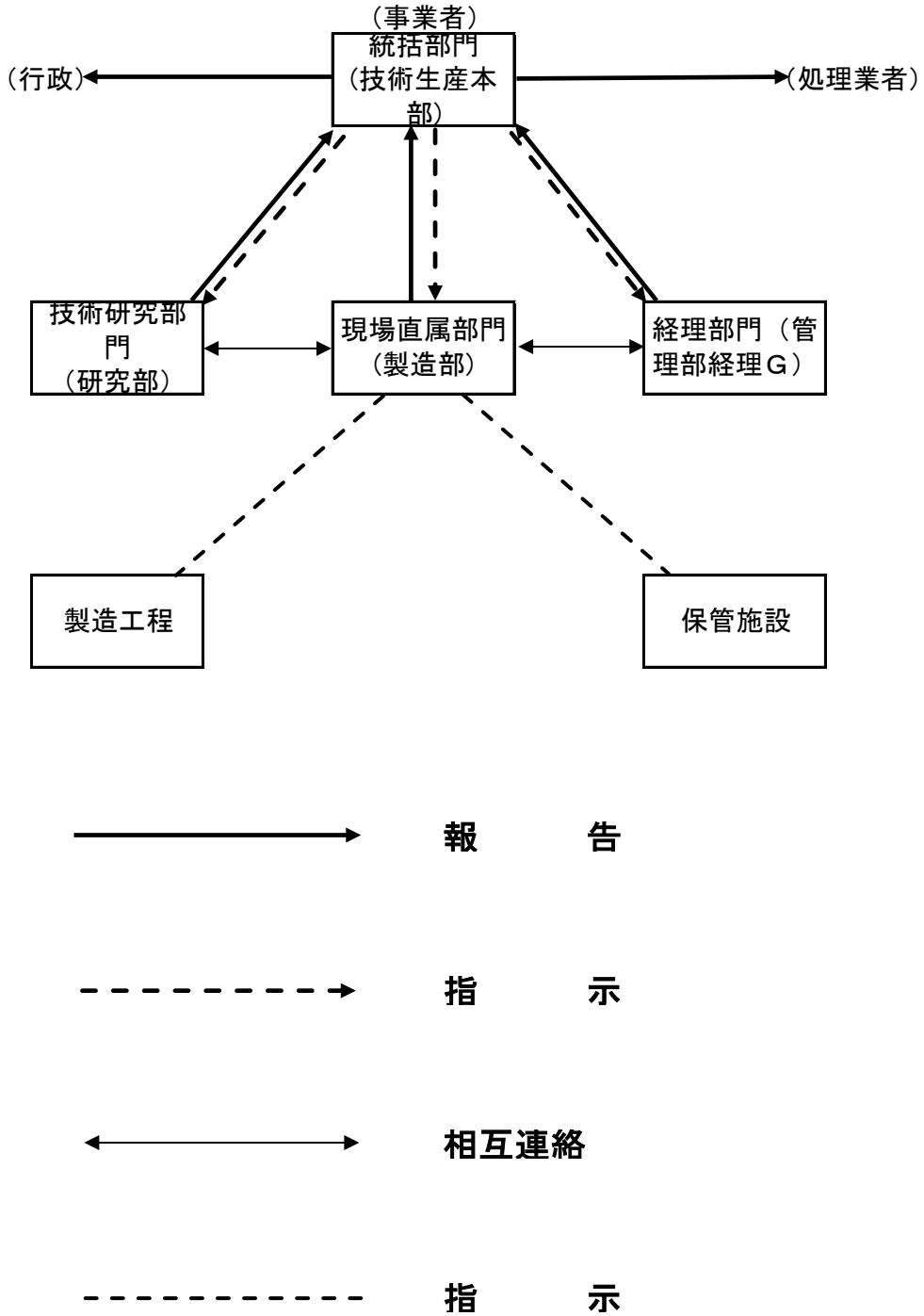
	産業廃業物の種類		計画の実施状況																	
			①排出量 (t)	②自ら直接再生利用した量 (t)	③自己直接埋立処分又は海洋投入処分した量 (t)	④自ら中間処理した量 (t)	⑤④のうち熱回収を行った量 (t)	⑥自ら中間処理した後の残さ量 (t)	⑦自ら中間処理により減量した量 (t)	⑧自ら中間処理した後再生利用した量 (t)	⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 (t)	⑩直接及び自ら自己処理した後の処理委託量 (t)	（⑩＝①−②−③−④＋⑥−⑧−⑨＝⑪＋⑬＋⑭＋⑮＋⑯） 委託先による区分						②＋⑧	⑨＋⑪
	コード	名　称											⑪再生利用業者への処理委託量 (t)	⑫熱回収認定業者への処理委託量 (t)	⑬熱回収認定業者以外の熱回収業者への処理委託量 (t)	⑭その他の中間処理委託量 (t)	⑮埋立処分委託量 (t)	⑯優良認定処理業者への処理委託量 (t)	自ら再生利用を行った量 (t)	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量 (t)
	コード参照	産業廃業物の種類	発生した産業廃業物の種類ごとの量	①の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量	①の量のうち、中間処理をせず自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	①の量のうち、自ら中間処理した産業廃業物の当該中間処理前の量	④の量のうち熱回収を行った量	自ら中間処理を行った後の量	④の量から⑥の量を差し引いた量	⑥の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量	⑥の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量	中間処理及び最終処分を委託した量	⑩の量のうち、処理業者への再生利用委託量（⑬、⑭除く）	⑩の量のうち、認定熱回収施設設置者への焼却処理委託量	⑩の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量	⑩の量のうち、委託して破砕等の中間処理した量（⑫～⑭を除く）	⑩の量のうち、直接委託して埋立て最終処分した量	⑩の量のうち、優良認定処理業者への委託処理量	②の量と⑧の量を合計したもの（自動計算）	③の量と⑨の量を合計したもの（自動計算）
1	200	①汚泥	122	0	0	0	0	0	0	0	0	122	65	0	0	0	57	90	0	0
2	300	②廃油	818	0	0	0	0	0	0	0	0	818	429	240	148	0	0	388	0	0
3	500	③廃アルカリ	17	0	0	0	0	0	0	0	0	17	17	0	0	0	0	0	0	0
4	600	④廃プラスチック類	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0
5	800	⑤木くず	39	0	0	0	0	0	0	0	0	39	39	0	0	0	0	0	0	0
6	1200	⑥金属くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	1300	⑦ガラスくず等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	1500	⑧がれき類	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	5	5	0	0
9	2200	⑨管理型混合廃棄物	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	3	0	0
10	3520	⑩乾電池	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11									0			0							0	0
12									0			0							0	0
13									0			0							0	0
14									0			0							0	0
15									0			0							0	0
16									0			0							0	0
17									0			0							0	0
18									0			0							0	0
19									0			0							0	0
20									0			0							0	0
		合計	1,007	0	0	0	0	0	0	0	0	1,007	556	240	148	0	63	487	0	0

[産業廃棄物発生工程フロー]



添付資料　管理体制図及び各部署の役割

〔管理体制図〕



〔各部署の役割〕

部　　署	役　　割
A 統括部門	・産業廃棄物の発生から処分に至るまでの帳簿等を作成して統括的に把握管理 ・産業廃棄物の発生工程、種類ごとの発生量、排出量及び性状等のチェック、集計等 ・処理施設（事業場内・外）の定期的査察 ・行政に対する報告等 ・処理業者委託の委託契約、委託量、委託伝票（マニフェスト）等の管理 ・産業廃棄物の適正管理及び減量化等に関する社内啓発 ・各部署間の調整及び指示 ・廃棄物の資源化・減量化及び適正管理について検討し産業廃棄物処理計画の策定及びその実施
B 現場直属部門	・産業廃棄物の種類、性状、発生量及び排出量等の把握 ・各現場の施設の維持管理点検等 ・保管施設での保管量の把握、記録の作成等 ・最終処分場の稼働状況の把握、記録の作成等 ・産業廃棄物の分析及び環境事象の分析、測定等 ・上記内容をA に報告
C 技術研究部門	・製造工程の研究開発 ・産業廃棄物処理技術の研究開発 ・産業廃棄物減量化手法の調査研究 ・上記内容をA に報告
D 経理部門	・産業廃棄物の適正処理費用の算出 ・委託料金の支払方法による業者管理 ・上記内容をA に報告